

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくて実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 形成外科学教室

記

研究の名称	浅下腹壁静脈と穿通枝静脈のコネクションを考慮した遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁による乳房再建の検討
対象	2019年5月1日から2024年8月31日までの期間に遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁(DIEP flap)による乳房再建術を行った患者さんの造影腹部CT及び手術記録情報を研究に利用いたします。本学では、60例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2028年3月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：腹部から自分の組織を用いて乳房再建を行う場合に、腹部皮弁の静脈血流が手術中に悪化することがありますので、その原因を調べます。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<p>情報：検査データ、診療記録、手術記録など</p> <p>腹部造影CT内の浅腹壁静脈(SIEV)と穿通枝静脈の交通所見、SIEVの外径、DIEVの外径、SIEVのドレーナージルート、SIEVのドレーナージ方法、術後皮弁壊死、皮弁部分壊死、術後感染、血腫形成、再手術の有無</p>

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 大槻 祐喜 殿

研究の名称	浅下腹壁静脈と穿通枝静脈のコネクションを考慮した遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁による乳房再建の検討
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）